



世界の動き身近な話題
中日新聞

さんぽみち

かわら版さんぽみち編集局

〒918-8116 福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL 0776-28-8619・FAX 0776-28-8602
E-MAIL osanpo@fukuikoho-c.co.jp

JUST meet
ジャストみ〜て!

日刊県民福井の深掘り動画公開中!
詳しくは
日刊県民福井販売店 で検索を

日刊県民福井 阿部社長

さんぽみち

動物系スープが癖になる!
ミシュランも認めたラーメン店



見た目も美しい「豚骨チキン白湯」(830円)。醤油味、塩味、辛味の赤から選べる。写真は醤油味

越前市上太田町にある「麺屋 鶏っぶ」の2号店として、鯖江市有定町に2019(令和元)年にオープン以来、絶大な人気を集める「鶏っぶ別邸」。ミシュランガイド北陸2021特別版に掲載された実力店だ。看板メニューの「豚骨チキン白湯(パイタン)」は、豚、鶏、水のみで炊き上げた「動物系スープ」が特徴。香味野菜を使わず、豚、鶏の加熱時間を調整することで臭みを消した。自家製中太麺に濃度の高いスープがよく絡み、食感とまみの異なる2種類のチャーシューが載る。他にあっさり系の「別邸中華そば」(800円)や期間限定メニューも人気。今年8月には福井市学園に3号店がオープン予定で「全く違うタイプのラーメンを出す」とのこと。研究熱心な店主の新しい挑戦に注目が集まっている。

※価格は全て税込込み
※プレゼントの応募方法は中面をご覧ください。

鶏っぶ 別邸

鯖江市有定町2-3-2
火～木曜日: 午前11時～午後2時 午後5～8時
金・土曜日: 午前11時～午後2時
日・日曜日 休

〒912
ツイッター、インスタグラム、フェイスブックで情報発信中

魅力発掘

輝いている人、おいしいもの、美しい景色。
すてきなものがいっぱい!

※営業時間、休みなどは変更されることがあります。事前にご確認ください。

人が集まり、つながる 町の本屋さん

昨年、通信販売や電子書籍などの普及で全国の書店数は減少しているものの、独自の個性を打ち出した書店やブックカフェが各地に誕生している。鯖江市で1955(昭和30)年に創業し、営業を続けてきた「富士書店」もそのひとつ。2年前にカフェスペースを併設してリニューアルした。店内でイベントを開くなど、人が集まる本屋さんとして注目を集めている。



町の書店らしく雑誌や漫画の新作も扱う一方、詩集やエッセイ、アートブックなど装丁の美しいものを中心に、店主自ら選んだ本がセンス良く並び店内に胸が躍る。「ITのまち鯖江」の推進するプログラミングや数学の本を集めた棚も。飲み物(400円から)を注文すると、ゆっくりと座って店内の本を読むことができる。

越前和紙の懐紙や、カラフルな靴下などの雑貨も取り扱うほか、月に2、3度「富士商店」と題し、県内のもづくり作家やおむすびのキッチンカーが、店内や隣接の駐車場でお店を開くイベントが好評を博している。「出店した作家さん同士が意気投合して別のイベントにつながったり、お客さんの会話が弾んだりしているのを見るとワクワクする」と話す店主。「富士商店」のスケジュールなど、詳細はインスタグラムで確認できる。

富士書店

鯖江市本町1-1-20
0778-51-0475 ①正午～午後6時
②日・月曜日、その他不定休あり
(詳細はインスタグラムで)

3台
Instagram(@fuisyoten) で情報発信中



※価格は全て税込込み

子どもが絵本を通して地域とつながる場に



絵本の読み聞かせを楽しむ子どもたち

主に鯖江市河和田地区で活動する「かわだ文庫」。今年4月、長年の社会奉仕活動の功績が認められ、春の褒章を受章した。代表を務める木村愛子さん(73)を中心に、地域活動を通じて出会った女性たちが、1993(平成5)年に当時の鯖江市図書館長の「河和田地区の読書人口を増やす取り組み」との呼び掛けに応える形で活動をスタートさせた。現在は鯖江市内に住む50～70代女性6人がメンバー。毎週土曜日の午後1時から同3時まで、河和田コミュニティセンター内の「交流ライブラリー・かわだ文庫」を開放し、本の貸し出しや絵本の読み聞かせをしている。このほか、お楽しみ会や親向けの講演会などを開き、地域の子育て支援の一翼を担う。

木村さんは「さまざまな立場の人と長年一緒に続けてこれたのは、絵本や本を通じて同じ価値観を共有しているから。これからは子ども達に本を通じて楽しいな、と思ってもらえるだけでなく、地域に誇りが持てるよう、郷土にゆかりのある本をより充実させたい」と話していた。活動に興味のある人や、かわだ文庫に関する問い合わせは、木村さんの自宅 = ☎0778-65-1833 = まで。



代表の木村愛子さん

かわだ文庫
(河和田コミュニティセンター内)

鯖江市河和田町19-6-1
0778-65-0001(代)
毎週土曜日午後1～3時



吉江藩主のお泉水は、今も市民の憩いの水場

鯖江市立待地区の春慶寺の山麓に、「千古の昔より湧き出でる」といわれる清水がある。市の文化財に指定され、2010(平成22)年には「ふくいのおいしい水」に認定されている。江戸時代に吉江藩により整備され、「藩主のお泉水」として利用されていた。この地区の出身で、「曾根崎心中」や「女殺油地獄」などを生み出した近松門左衛門も幼いころ、喉を潤していたに違いない。取材日に鯖江市(ただす)町から訪れていた酒井正和さんと妻の次子さん、孫の紫帆さんは、「近くに名水があって便利。飲用や料理用に使う」と、勢いよく流れ出る水を特大のペットボトル容器24本にくんでいた。清水や付近の池泉(ちせん)広場は、地元米岡町の住民が当番制で清掃し、手入れしている。サクラやハナショウブなど、季節の花や樹木が景色を彩り、生き物が伸び伸びと自然の営みを繰り広げる水辺は心洗われる風景。憩いを求めて訪れる人も多い。



榎お清水

鯖江市米岡町6-5
あり



味に納得、石臼びきの絶品そば



揚げおろしそば(手前左)がセットになった「おろし三味(どんまい)」(1,680円)



店主の笹本猛さん(左)とそば粉の製粉を担う岡下和夫さん

越前そば処 二男坊

鯖江市吉江町512
0778-51-4015
午前11時～午後7時(ラストオーダー)
※平日の午後3～5時は休み
火曜日
約10台



プレゼント

読者の広場



大坂 由紀恵さん
越前市
サボテンの花が一緒に咲きました。



KMさん 福井市
今にも歩きだしそうなダイコンがかわいそうになり、なかなか包丁で切れませんでした(> <)。



小坂 友美さん 福井市
公園に咲いていた七つ葉のクローバーです。



川口さん 坂井市三國町
巣から落ちてしまったツバメのひなたち。チャイルドシートの上で、無事育っています!

LINEで送れるよ! 応募お待ちしています。

お子さんやペットなど お写真募集

【応募方法】
①応募者の氏名、住所、年齢、電話番号 ②写真に写っている人やペットの名前、生年月日、性別 ※ペットの場合は種類も書いてください。 ③掲載するコメント(100字以内)
以上の必要事項を書き添えて、LINEかメール、郵送で「さんぽみち写真係」にお送りください。

宛て先は中面のプレゼント応募先と同じです。 ※コメントは内容を変えない範囲で、手直しする場合があります。 ※掲載の有無および時期の連絡はいたしませんのでご了承ください。

わが家のプリンス プリンセス

林 希弦くん
鯖江市
生後3カ月の息子です。指しゃぶりが大好きです。



わが家のペット!

佐々木 ガルくん
(9カ月、ベンガル) 福井市
ヤンチャばかりしますが、とってもかわいいガルです。

白崎 レオくん
(6歳、キジトラ) 福井市
私のレオくんです。とても甘えん坊です。

村山 ももくん
(12歳、チワワとシーズーのミックス) 勝山市
わが家に来て来て12年。わがまがいっぱいに育ててしまいましたが、そこがかわいくて仕方ないです。トリミングに行ってもスカーフを巻いても、いや顔のもちちゃんです。

奥山 みらくん
(2歳、チワワ) 越前市
お外で気持ちいいなあ。コロナ禍が落ち着いたら、早くどこかに行きたい♡♡